

こだま新聞

第47号

平成11年9月

老人保健定率化

来年度から老人の保険料が定率化される見込みだ。先日の報道では平成12年4月1日から老人医療保険を一割負担とする案が政が出していた。介護保険料に更に老人保険の負担増となる。高額な医療費の負担にならないように、負担金には上限を付けるという折衷案で落ち着きそうだという。いずれ老人手帳はなくなり老人保険証が発行されるという情報もある。老人医療費の問題は、個人負担金を多くして健康保険組合の負担金を少なくするといった金銭的な対策でなく、病気を予防することにこそ頭を使っていただきたいと思うが。



審査員の勇み足か

今年の一日市盆踊りは7区優勝で幕を閉じた。連戦連勝だった13区は3位にあまんじる結果となつ

た。

町内会長を始め盆踊りの裏方をやつた13区の人達は口惜しい気持ちだったようだが、当の踊り子はそれ程でもないような口振り。ただ今回はいつもと違う審査員の対応に神経をいらだたせられる結果となったことは残念だ。

踊り子達の話の聞くと、3日目の競技も後半に入った頃、審査員数人から「ダイダイツク踊りの踊る向きがおかしい」と注意されたというのである。他にもいくつか指摘されたようだが、そのために踊り子の先頭の数人が踊りを止めて注意を聞くこととなったようだ。

この日は前日の成績が振るわなかったこともあって13区ではかなりの人数が参加していた。注意を受けた踊り子と注意が良く聞き取れなかった踊り子との間に踊りが合わず、その後の踊りがバラバラになってしまったというのである。どんな競技会でもルールを守らない場合、注意されることはある。しかし、競技者の動作や仕草が違



うだけで、競技中に審査員が直接声をかけ、競技を中断させてまで注意することはあるだろうか。昨年、今年とテレビ放映され13区が代表として踊っているの審査員としては踊り方が気になって仕方がなかったりのかも知れないそれにしてもである。競技前に競技者全員に踊りについて注意するのならともかく、競技3日目になって競技中に一つのチームにだけ注意するのはどうか。結果的に競技に対し不信感を持たせてしまう結果となってしまった。

一日市盆踊りの正しい継承を思う気持ちでこういう結果をもたらしたのだと思うが、やはり審査員の勇み足であろう。

最後に踊り子達からの率直な意見

見を付け加える。

私達は毎年盆踊りを楽しみにしている。親から子、子から孫に伝えられてきた盆踊りを私達は踊ってきた。正統な踊りというものはなく、個人個人、みんな楽しんできたもののに、なぜお前の踊りは違う」と言われなければならないのだろう。

だらしなく踊ったり、あまりふざけた踊りをして注意されたのなら分かるが、ちよつと仕草が違つたからといって、踊りを止めてまで注意するのはちよつとねえ。」

男性学講座 2



8月26日男性学講座が改善センターで行われた。初級ワイン学の講師は一日市出身のソムリエ佐々木茂道さん、男の料理の講師は栄養士の石川迪代さん。

初級ワイン学ではワインの種類、

ワインの選び方、コルクの開け方など丁寧に教えていただいた。受講者に同級生が大勢参加していて、いつもと違った受講者に講師も戸惑い気味。フランスワイン、チリワイン、ドイツワイン、日本のワインなど様々なワインを試飲でき大満足。

今月の終了証

次のみなさんに修了証をお渡しすることができました。

青山祐さん、工藤一哉さん、京極雪村さん、千田悠輝さん、高橋恭矢さん、相馬聖也さん、三浦操登さん、黒沢侑希奈さん、黒沢理瑛さん、佐々木崇さん、佐々木良太さん、浅野絵美さん、相馬初美さん、相馬明日香さん、高橋侑里さん、佐々木希望さん

今月の行事

八月

29日 高岳山トレッキング

九月

2日 国保委員会

6日 歯科講習会防災センター12

日 浦城本丸跡石碑建立

19日 幼稚園運動会

26日 やまびこ館清掃ピクニック